Photo ふなばし

とくしゅう PART 2

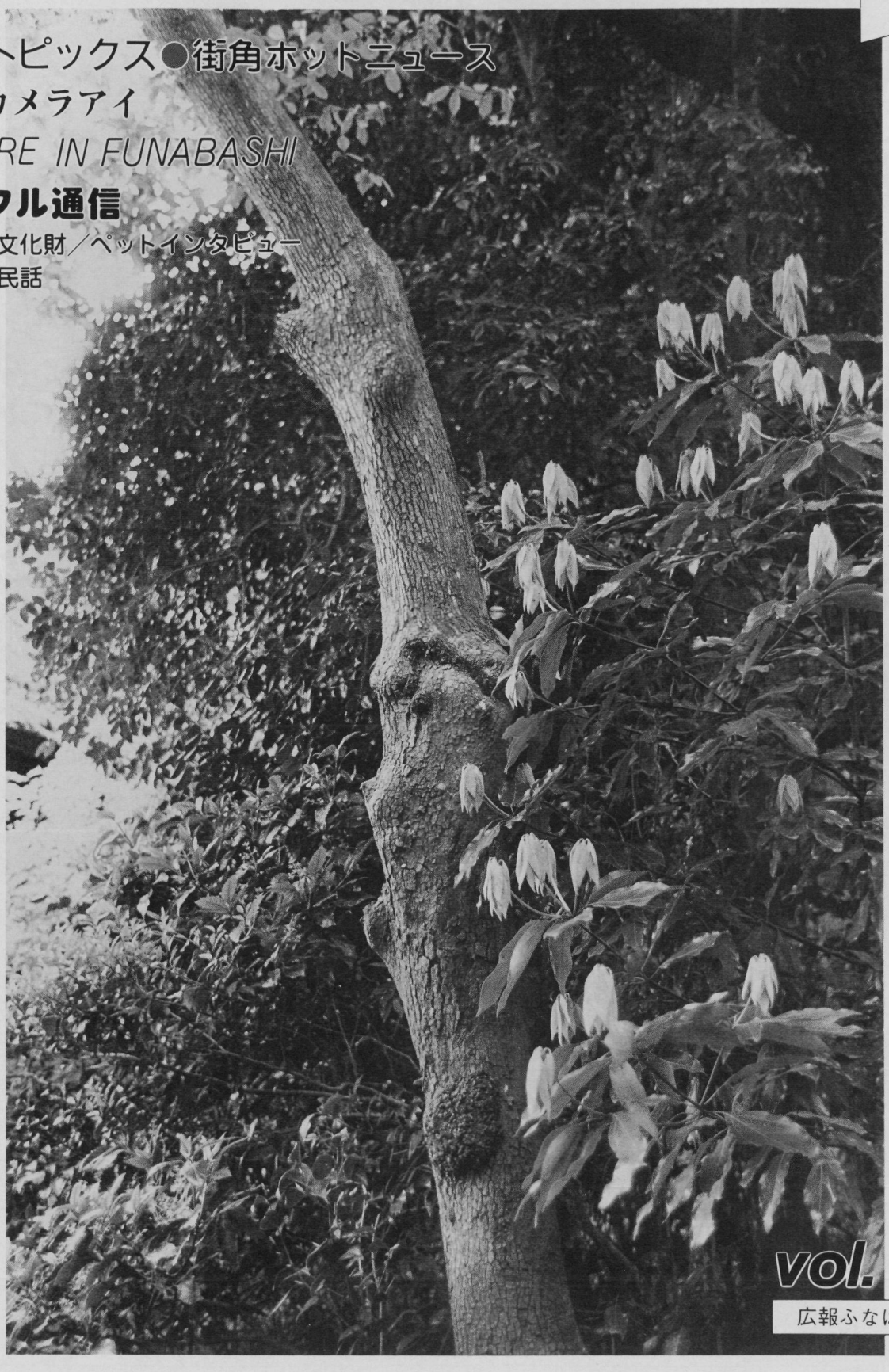
船橋ってどんなまち？
働く若者15人に聞きました

とくしゅう PART 1

ふなばしの緑

- 市政トピックス●街角ホットニュース
- 私のカメラアイ
- *WE ARE IN FUNABASHI*
- **サークル通信**

まちなかの文化財／ペットインタビュー
ふなばしの民話



柿の木とシロダモの葉（大神保町）

vol. 37
広報ふなばし写真版

とくしゅう
PART 1

ふなばしの緑

丸山市民の森の朝…
木漏れ日のなか
緑の風もさわやかです。

5月13日、県民の森で行われた「ウォーク・アンド・森林浴」。横浜植生学会の皆さんによる樹木や草花などの説明を聞きながら、緑への関心を深めました（参加者に木の特徴等について説明する宮脇昭横浜植生学会会長・右端）

グリーンベルトの整備も着々と進み、現在、総延長14.1キロメートルに及んでいる（市場２丁目付近）

4月29日、青少年キャンプ場で行われた親子写生大会

桜の緑が道ゆく人々に潤いを与える海老川ジョギングロード

毎年春と秋に天沼弁天池公園で行われている緑と花のジャンボ市（本町７）

の基金」です。行政と市民一人ひとりが手をたずさえて市内の緑を守り育て、健康で快適な都市環境をつくることを目的に、ウォーク・アンド・森林浴やグリーンフェア船橋、緑化講演会などの普及啓発事業、グリーンスポットの設置や生け垣づくり、マンションなどの共有地の緑化に対する助成といった緑化推進事業を毎年実施してきました。基金額も、多くの皆さんのご協力により、今年度中に当初の目標額３億円を達成、従来の事業に加えて、民有地の買い取りといった全国にも例がない一歩踏み込んだ事業にも着手いたします。

船橋市は、このように、緑を守るだけでなく、積極的に増やし、さらに、市民の皆さんの緑化活動を応援しながら、緑を生かしたまちづくりを着々と進めています。

現在、市内には386か所、総面積105.78ヘクタールの公園がある。写真は、高根木戸第３号公園（高根台３）。通称、怪獣公園とも呼ばれている

県立行田公園（行田町）。園児や児童の散歩コースとして人気がある

まちかどスポーツ広場がある夏見台東公園（夏見４）

市が所有者から借り受け整備した八木が谷市民の森（みやぎ台２）

30メートルの滑り台が人気の上山公園（上山１）

緑が目にまぶしい季節。家族連れで森林浴なんて最高ですね。市内にもワンパク王国や金杉自然の森、県民の森など緑豊かな場所が沢山ありますが、市民の皆さんに気軽に自然の森に親しんでもらおうと、昨年度から、市民の森の整備を進めています。今までに丸山、八木が谷、大穴の３か所に設置しましたが、休日には散策やバードウォッチングを楽しむ皆さんでにぎわっています。このため、本年度中にさらに、２か所オープンの予定です。

地球の環境問題が、大きくクローズアップされている今、船橋市でも年々都市化が進み、長い歳月を経てつくられた大切な緑が失われています。このため、市では、この掛け替えのない緑を守るため、緑の環境整備を重点施策として、公園の設置、道路のグリーンベルト（街路樹等）の建設、前述の市民の森の整備や斜面緑地の保全、民有樹林保存の為の助成等様々な施策を行ってきています。街路樹についていえば、この７年間に約９倍に増えるなど成果も上がってきています。また、このような市の事業だけでなく、市民の皆さんが自宅に生け垣を造ったり、住民が共有する土地に木を植える等民有地の緑化も大変重要なことです。このように、市と市民が一体となって緑化活動を総合的に行うことが緑豊かなまちづくりにとって重要になってきます。こうした活動の拠点として昭和60年１月にスタートしたのが「(財)船橋市緑

とくしゅう PART2

船橋ってどんなまち？

働く若者15人に聞きました

今日も市内ではたくさんの人々が働き、活力ある船橋を支えています。そのなかには、時代に敏感だといわれる若者も大勢います。

仕事、遊び、音楽、旅行、そして、まちの様子……。若者たちは新しいものを探し求め、常にアンテナを張りめぐらせています。

今回は市内で働く20代の若者にスポットを当て、彼らの目に船橋市がどのように映っているかを探ってみました。

しつもん

① 住　　所
② 職　　業（勤務先）
③ 船橋で好きな場所
④ 船橋で嫌いな場所
⑤ 船橋を一言でいうとどんなまちですか
⑥ 船橋市に欲しいものはなんですか
⑦ 船橋は将来どんなまちになって欲しいですか
⑧ 今、熱中しているものがありますか

宍倉仁士さん（22歳）

①千葉市　②整備士（ナカミツオート）　③湾岸道路の海側、海辺のドライブができるから　④船橋港の一部、暴走族が集まるようなところ　⑤以前は都会的なまちというイメージだったが、畑や田んぼも多く思ったより広いまち　⑥県民の森みたいな、家族ぐるみで楽しめる公園をもっと作って欲しい。ディズニーランドみたいのじゃないやつ　⑦近代的になるのはいいけれど、船橋らしい街並みを残したまちづくりをして欲しい　⑧仕事。ドイツ人の造った車はやはり違います

日高辰巳さん（27歳）

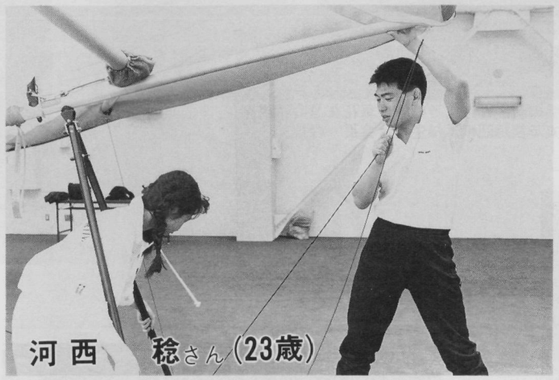
①習志野市　②山谷硝子　③ららぽーと周辺。家から近いし、競馬場もあるし……　④特にありません　⑤住みやすい。環境がいいし買い物が便利だから　⑥遊園地や動物園。子供たちを連れて行けるところ　⑦緑の多いまち、森でハイキングをしたいですね　⑧川釣り。月に一度は出掛けます。小さい魚は逃がしていますヨ

露崎晴美さん（24歳）

①本町3丁目　②OL（太平洋証券船橋支店）　③特になし　④JR船橋駅南口、とにかくゴミゴミしていてきたなくて、京成の踏切で人間も車も渋滞しているから　⑤千葉の下町　⑥JR船橋駅の南口から北口に抜ける道路　⑦きれいなまち　⑧宝くじ

高橋昭安さん（25歳）

①杉並区　②一般事務（サッポロビール千葉工場）　③すばらしい環境の職場とららぽーと　④JR船橋駅、京成船橋駅周辺の交通渋滞　⑤かつての漁師町、今や東京のベッドタウン、ギャンブルの町　⑥海と触れ合える、アウトドア感覚のコミュニティー施設、若者が集まる多目的ホール、大学、短大　⑦漁師町の人情がいつまでも残り、かつ国際的に開かれた若さのあふれる明るい都市　⑧野球とテニス、目下、仕事を覚えるのに必死です



河西　稔さん（23歳）

①松戸市　②スポーツ・インストラクター（東武スポーツクラブふなばし）　③夏の海浜公園のプール　④特になし　⑤駅の周辺は賑やかだけど、少し離れると寂しくなる　⑥ららぽーと以外に楽しく遊べる場所、図書館　⑦駅周辺の賑やかさを残しながら、海のにおいがするような心休まる町　⑧スキー

佐藤正和さん（20歳）

①藤原町三丁目　②ガソリンスタンド・スタッフ（株石井・湊町給油所）　③海が好きだから海浜公園の辺り　④人も車も混むからJR船橋駅南口周辺　⑤まだまだギャンブルの町　⑥波打ち際まで車で行けるような道路、道路の右折レーン、ポートタワーみたいなもの　⑦道路整備が進んだ町　⑧3級整備士の資格を取るために勉強中

鳥羽英二さん（21歳）

①丸山3丁目　②アルバイト（ピザ・ウイリー船橋店）　③海浜公園や海のほうへバイクで出掛けます。決して暴走はしません！　④交通量に対して道が狭い。路上駐車が多い　⑤活気に満ちていそうで実は穏やかなまち　⑥大きな駐車場と大きなレジャー施設　⑦あまり都市化しないで自然のあるまちにしてほしい　⑧ゴルフ。ドライバーの大スライスを直したい

神田真由美さん（22歳）

①千葉市　②セールス・スタッフ（ベイトンプレイス船橋ららぽーと店）　③京葉線南船橋駅あたりから見える風景　④京成船橋競馬場駅のオートレース場行きのバス停。朝からお酒を飲んでいる人がいて、柄が悪いと思う　⑤開けていそうで開けていないまち　⑥横浜の「山下公園」や、「ベイ・ブリッジ」に対抗できるようなものが欲しい　⑦特にありません　⑧ドライブ

譜久島孝子さん（24歳）

①松戸市　②美容師（リボン美容室ジャスコ店）　③買い物に便利ならららぽーと　④駅前がゴミゴミしている　⑤バスの便が悪い　⑥道路をもっと広くして欲しいですね　⑦交通の便利なまち　⑧特になし

岩井巨文さん（29歳）

①印旛郡八街町　②駅務員（ＪＲ東船橋駅）　③運動公園。誰でも楽しめる　④駅前の町並み。ごみごみしている　⑤昔ながらの町並みを残しつつ新しい息吹を感じさせる　⑥アトラクションセンター　⑦先進的なまち　⑧スキーとゴルフ

中丸尚美さん（22歳）

①夏見３丁目　②ホテル・フロント（船橋グランドホテル）　③自宅から近くて、緑が多く、広々としているから行田公園と運動公園　④特になし　⑤緑の町　⑥箱根にあるような野外美術館　⑦都会の殺伐とした雰囲気の中にもどこか温かみのある町　⑧仕事

阿部さと子さん（29歳）

①薬円台２丁目　②ウエートレス（アイホップ船橋店）　③海老川ジョギングロード。欄干のあせ一平くんがかわいい。桜や緑が整備されてきれい　④ＪＲ船橋駅南口周辺の路地。夜、女性ひとりでは歩けない　⑤古くからの人がたくさんいて、歴史や風土を大切にするまち　⑥遊園地。ディズニーランドはいつも混んでいるので市内に欲しい　⑦行政、特に福祉がしっかりしていて、住民ひとりひとりが安心して一生を送れるまち　⑧50ccの新車のスクーター

熊手誠治さん（26歳）

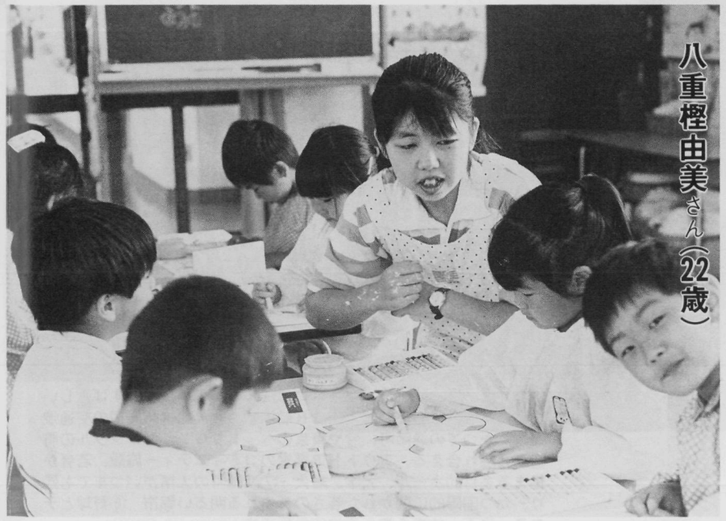
①本町４丁目　②レンタルサービス（ＬＩＢＥＲＴＹ-ＭＵＳＩＣ）　③ディスコ等遊ぶスポットがあるららぽーと　④ＪＲ船橋駅南口、狭くて飲み屋のイメージが強いから　⑤通勤等で単に乗り換える（通りすぎる）場所　⑥ＪＲ船橋駅近くに遊べるエリアが欲しい　⑦浦安や幕張に負けないくらい洗練して欲しい、交通渋滞のないまち　⑧特になし

佐藤伸夫さん（25歳）

①三咲４丁目　②農業（ナシ、ニンジン、キャベツなど）　③暇つぶしになるのは、ららぽーと。主に映画です　④これといってありません　⑤都会化しきれないまち。東京に近づこうとしているがなれないまち　⑥だいたい何でもそろっていますね　⑦農家の人と周辺に住む人とが理解・協力できるまち　⑧友達と野球チームをつくり、ナイターで試合をしています

しつもん

①住所　②職業（勤務先）　③船橋で好きな場所　④船橋で嫌いな場所　⑤船橋を一言でいうとどんなまちですか　⑥船橋市に欲しいものはなんですか　⑦船橋は将来どんなまちになって欲しいですか　⑧今、熱中しているものはありますか



八重樫由美さん（22歳）

①習志野市　②保母（三山つくし保育園）　③ららぽーと。色々な店があり見ていて飽きないから　④特になし　⑤にぎやかなまち　⑥駅前駐車場　⑦温かみのあるまち　⑧子供たちとドッジボールなどの戸外遊びに熱中しています

まちなかの文化財

薬師堂切通し

（飯山満町２丁目）

懐かしい風情を見せる薬師堂前の坂道

薬師堂の傍らにたたずむ石仏

新緑の切通しを経、飯山満の旧村落の中心部に到らんとす。その切通しの風情がいい。

途上にある薬師堂。土地の人は「目の神様」と親しんでいる。今も老男女が日を決めて集まる。堂内を覗くと畳の一間きりだが綺麗に掃除されている。箒（ほうき）もある。石油ストーブも置いてある。現代の元気なお年寄り同士のこと、嫁姑の話も出ようが、自分達のゲートボールの自慢話で花が咲いているのかも知れない。

十数年前になるが、堂前の夏草の生い繁る間に、形の美しい中型の五輪塔があった。当時の私のメモによると、塔身に「慶安元年八月十四日、浄清傳賀」と読めると記しているが、それが無い！　その五輪塔が見当らない！　あの〝慶安五輪塔〟こそ、この夏草と墓石に埋もれゆく小堂にふさわしかったのに。

歎きを深めつつ切通しを登りつめれば、その先に朱塗りの山門が見えてくる。「真言宗豊山派事相専門道場」と門札を掲げて、医王山東福寺である。

境内の松、槇、百日紅などもよく手入れされているが、六体地蔵の前にひっそり咲いた都忘れの薄紫の、小さく可憐な花の姿にしばし心を休ませた。

（文責・大木勲）

囲碁を通じた国際交流
船橋市・上海市親善囲碁大会

牛力力（にゅうりーりー）５段による指導基

5月19日に行われた公開親善試合。高尾紳路院生（13歳・写真左）と呉棋（ごき）プロ初段（12歳）は熱戦となり、高尾君がこの日船橋市唯一の白星をあげた

人気を集めた菊池康郎アマ名人と山下千文さんによる大盤解説

親善試合で圧倒的な強さを見せた女流世界一の芮乃偉（ぜいのい）９段

船橋市では、かねてから「少年の船」などを通じて中国・上海市と交流を進めていますが、「囲碁を通じてさらに友好を深めよう」という上海棋院の呼び掛けに応え、５月19日（土）と20日（日）の両日、「船橋市・上海市親善囲碁大会」が勤労市民センターで行われました。

今回船橋を訪れたのは、女性プロや12歳の少年を含む上海囲碁選手団９人で、一行は19日に大橋和夫市長を表敬訪問。市長が「囲碁は『手談』ともいいますから言葉以上に友好が深められることでしょう。」と歓迎の言葉を述べると、陶介平団長は、「船橋市も囲碁が盛んと聞いています。今回の対局に勝つことが両市の友情をもっと発展させるでしょう。」とにこやかに挨拶。囲碁を通じての友好を誓い合いました。

20日に行われた対抗試合では、白熱した対局のすえ船橋市側が４勝３敗で勝ち、会場に詰め掛けた囲碁ファンは目前で行われる本場の試合を食い入るように見つめていました。

５月20日に行われた対抗試合では大橋和夫市長も対局しました

熱烈欢迎中国朋友到船桥来！

５月19日、上海囲碁選手団は親善試合に先立ち市長を表敬訪問した。写真は大橋和夫市長と握手を交わす陶介平（とうかいへい）団長

潮見表　日・祝日

開催日			干潮	潮干狩りができる時間
6月	7	木	10:10	8:30 ～ 11:30
	8	金	10:45	9:00 ～ 12:00
	9	土	11:16	9:30 ～ 12:30
	10	日	11:52	10:00 ～ 13:00
	11	月	12:26	11:00 ～ 14:00
	12	火	13:03	11:30 ～ 14:30
	13	水	13:43	12:00 ～ 15:00
	21	木	9:28	8:00 ～ 11:00
	22	金	10:16	8:30 ～ 11:30
	23	土	11:03	9:30 ～ 12:30
	24	日	11:50	10:30 ～ 13:30
7月	7	土	10:31	9:00 ～ 12:00
	8	日	11:06	9:30 ～ 12:30

ふなばし海浜公園　いよいよ7月8日まで！

黄金の潮干狩り実施中！

●いま、黄金、ピンク、ブルーのアサリを見つけると豪華プレゼントがもらえます！

料金　○おとな（中学生以上）　800円
○こども（満4歳以上）　500円
■採具量は一人１kgまで

5月23日に入場者50万人目を達成

潮干狩り情報（テレホンサービス）
☎0474(37)2525

周囲の景観と調和したシックな外観

市内20館目　オープン
新高根公民館

５月27日(日)、新高根公民館が市内20館目の公民館としてオープンしました。建物は、鉄筋コンクリート２階建てで 延べ床面積は約2,070平方メートル。児童ホームと老人憩の家が併設されています。館内には、定員230人の講堂をはじめ、三つの集会室と二つの和室のほか音楽室や料理実習室、図書室などがあり、あらゆる活動に対応できるものとなっています。さらに、お年寄りや体の不自由な方々のため、エレベーターも設置されています。また、（仮）葛飾公民館も近く開館が予定されています。

大橋和夫市長ら関係者とガールスカウトの皆さんにより行われたテープカット

記念式典では、公民館建設にご協力いただいた皆さんに感謝状が贈られました

６月１日から各出張所で広報ビデオと衛星放送を放映

６月１日(金)から、各出張所の待合室で、広報ビデオと衛星放送（高根台出張所を除く）がお楽しみいただけるようになります。市では、高度情報化社会に合わせた市民サービスを進めるため、昨年の10月から市庁舎１階ロビーで広報ビデオと衛星放送を放映していますが、さらに多くの市民の皆さんに見ていただくため、実施することになったものです。

船橋市テレトピア指定記念シンポジウム開催

「市民生活とニューメディア」と題して行われたパネルディスカッション。５人のパネラーにより船橋の近未来が明らかにされた

５月22日(火)、勤労市民センターで船橋市テレトピア指定記念シンポジウムが行われました。テレトピアとは、ＣＡＴＶやビデオテックスなどのニューメディアを用いて地域社会の振興を図ろうというもので、テレコミュニケーション（電気通信）とユートピア（理想郷）の二つの言葉を合わせた名称です。当日は、澤井安勇船橋市助役が、ＣＡＴＶなど市のテレトピア構想について、今後の取り組み方針を説明したあと、澤井助役、来年秋の開局に向け準備中のCATV「船橋ケーブルネットワーク」の丹澤章浩社長などによるパネルディスカッションが行われました。

大型画面で最新の情報をお楽しみいただけます

市民ひとことインタビュー

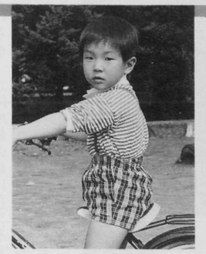
テーマ　あなたの好きなスポーツは？

ゴルフの打ちっ放しなど少人数でも手軽にできるので最近やってます。
畔蒜　勉さん（高根台７）

高校野球に自分の母校が出場していると良く見ますね。
中島良子さん（行田２）
裕里ちゃん

ゴルフが好きで月に２回ぐらいコースに行って、テレビでは毎週見ています。
石井瀧男さん（馬込町）

良く見るのはプロ野球や高校野球、それと駅伝なども好きですね。
大沢秀子さん（金杉８）


縄飛びと自転車が大好きです。
御山伸洋くん（薬円台4）

難しい念仏唄に合わせて踊ります

200年以上続く伝統行事
八木が谷天道念仏

江戸時代中期には行っていた資料が残る天道念仏が、3月15日㈬に八木が谷5丁目の長福寺で行われました。天道念仏は豊作を祈る太陽信仰の念仏と言われ、きれいに飾った祭壇の前でおばあさん達が念仏を唱え、後で周囲を踊って廻ります。かつては各地で行われた天道念仏も、今では市内で数ヶ所を残すのみで、踊りをするのは八木が谷と海神のみとか。珍しい行事に見学者・研究者のシャッター音がしきりでした。

当番の家の男性陣は、祭壇の飾り作りに大忙し

町会・自治会コーナー

待望の新町会会館が完成
習志野台1丁目町会

町会活動に大きな拠点ができました

5月19日㈯、習志野台1丁目町会（木村宏会長）に新しい町会会館が完成、落成記念式典が行われました。当日はあいにくの雨でしたが、町会の役員をはじめ、多数の皆さんが参列、新会館の完成を祝いました。新会館は、地下1階、地上2階建てで、町会の様々な活動やサークル活動などに有効に利用されます。

挨拶する木村宏会長

熱演！市内の劇団「人生舎」初公演

カーテンコールでは出演者に花束が殺倒

5月18日㈮、19日㈯の両日、市内の演劇愛好家が集まってできた劇団「人生舎」の初公演「非寿丁里異譚」（ひすてりいたん）が、市民文化ホールで行われました。大正時代の津田沼・船橋あたりを舞台に、主人公の貧乏でいくじなしの画家と芸者上がりでヒステリーの妻とのやりとりを描いた宇野浩二の自伝的作品「苦の世界」を脚本化したもので、舞台になじみの顔が登場すると客席のあちらこちらから声援が飛び、初公演は大成功のうちに幕となりました。

ふなばしの民話

文・村上昭三

源五沼の河童（かっぱ）

源五沼があったといわれる場所（藤原町1丁目）

むかし、藤原新田（現・藤原町一～三丁目）の下郷（しもごう、藤原町一丁目内）に源五郎という百姓がいました。ある日、近くの大野村（現・市川市大野町一～四丁目）の親類の家に招かれました。

親類の家では、源五郎は遅くまで濁酒（どぶろく）をご馳走になり、上機嫌でした。夜も大分更けたので、お土産に胡瓜（きゅうり）をどっさりと貰い、家に帰ることにしました。源五郎は、酒が体中に回り

「おお、酔った、酔った。ええ気分じゃのー」

といいながら、千鳥足で歩いていました。

村の入口までやって来ました。源五郎は喉がからからに乾き、水を飲みたくなりました。そこで、近くの崖下にある清水頭という清水の湧く沼の所に寄りました。そして、岸辺に腹這いになり、口を水面にあて、がぶがぶと水を飲みました。

その時でした。この沼に棲む河童が、ぬーっと現れ、水掻きのついた手で、源五郎の足をぎゅっとつかみ、水中に引っ張り込もうとしました。源五郎は、酔いが一辺に醒め、大声で助けを求めました。しかし、誰も来ませんでした。

ところが、河童は

「源五郎、離してやるから、側の胡瓜をくれろ」

と、如何にも胡瓜を欲しそうにいいました。

そこで、ほっとした源五郎は、気を取り直し

「これ、河童や、胡瓜はやるよ。これからも、儂（わし）が毎年作ってやるから、人様には絶対に迷惑をかけないでおくれ」

といって約束をさせ、貰って来た胡瓜をそっくり上げました。河童は、胡瓜を両手で抱え、沼の底深く潜って行きました。

その後、源五郎は胡瓜を毎年作り、河童に上げました。また、河童も約束を守り、ぷっつりと悪戯（いたずら）をしなくなったということです。それから、村人たちは、源五郎を称え、この沼を源五沼と呼ぶようになったということです。

街角ホットNEWS

長生きしてネ 豊寿園でおそばの慰問

4月11日㈬、金堀町にある養護老人ホーム豊寿園で、船橋東そば商組合（佐藤千代次会長）の皆さんによる慰問がありました。これは、豊寿園のお年寄りにおそばを食べて長生きしてもらおうと昭和50年から行われているもので、皆さんは、打ちたてのおそばやうどんに舌鼓を打っていました。

ツルツル・シコシコ皆さんおいしそうですね

この日のメニューは天ぷらそば

緑豊かな丸山市民の森で、楽しい子供フェスティバル開催

3月25日㈰、この2月に完成した丸山市民の森で子供フェスティバルが行われました。当日は、好天にも恵まれ、ガールスカウト第41団、第47団の皆さんや丸山サンクチュアリの皆さんなど約200人が参加。ガールスカウトの皆さんの楽しい演奏をはじめ、探鳥や木の名札づくりなどで春の一日、豊かな自然の中で楽しい一時を過ごしました。

ドレミの歌やエーデルワイスが森中にこだましました

会場となったサッポロビール千葉工場には約二千人の皆さんが集まりました

豪快な巻網漁の実演にビックリ 遊海なふれあいフェスティバル

5月13日㈰、市内高瀬町にあるサッポロビール千葉工場で“遊海なふれあいフェスティバル”が行われました。これは次代を担う子供たちに海への親しみを持ってもらおうと船橋青年会議所の20周年記念事業として企画されたものです。当日は豪快な巻網漁の実演や新鮮な魚を賞味するコーナー、子供に大人気のアンパンマンショー等趣向をこらしたイベントにつめかけた多くの皆さんは春の一日を愉快に楽しんでいました。

船橋市漁業協同組合の皆さんにより巻網漁の実演も行われた

私のカメラアイ

ヘルシンキの朝市

（写真と文）立川敬策（前原西3）

早起きは三文の得といわれるが、旅行先の国の朝市を見物することは意外な発見に直面して面白い。

ここに紹介するのはフィンランドのヘルシンキ南港の朝市である。野菜、香辛料、果物、魚、えび、かに、肉などの食料品。生花、人形玩具、木工品などの日用品。新鮮で安くて豊富で、色鮮やかに並べられている。

売り手は活気に満ち、集まって来た子供連れの夫婦、主婦、老夫婦や観光客など表情も様々である。

よい品をあさる人、買う人、くつろぐ人、それぞれ生活感情がにじみ出ていて絵になる。

11時頃で終るがブルが野菜くず、ダンボール箱、木箱、ごみを集め、水を流して清掃を完了し、またたく間にきれいな広場に変身する。その手際の良さは唯目を見張るばかりである。

私のカメラアイ

みんなのサークル通信広場

源氏の会
西三会自治会館

物語のなかの心理的なやりとりは現代にも通じるものがあるといいます

尾田先生の朗読に聞き入る会員の皆さん

「源氏物語を原文で読んでいくと物語の筋というより、登場人物の微妙な心の動揺が分かってきます。」とおっしゃる尾田先生のお話に、会員の皆さんも時を忘れて、その世界に入っていきます。「源氏の会」は昨年4月に発足。活動は月1回、前原西3丁目にある西三会自治会館で行っています。「改めて源氏物語の奥の深さに感心しました。」と会員の皆さん。会員は30人で全員女性というこの会、男性会員を募集中です。ご夫婦で古典を楽しむというのはいかがですか。

（連絡先：大井田満津子☎65－8044）

先生のせん定に見入る会員の皆さん

二和公民館
フォークダンス同好会ポルカ

最初は好きな人2人が呼びかけて発足したというこのサークルも今年で10年目。練習は毎月第4週を除く火曜日です。会員は現在26名。誰がリーダーということなく、みんなで和気あいあいと楽しむことをモットーとしています。3年ほど前からジャズダンスや社交ダンスを積極的に取り入れているとのこと。「けっこう運動量があるのでストレス解消にとてもいいんです」とはある会員の声。ちなみにサークル名のポルカはステップの名前。20歳以上の方であれば男女を問わず参加できます。

（連絡先：根本幸子　☎49－1284）

ダンスはドレスを着たスポーツです

軽やかなステップで気分もそう快

浜町公民館
浜町盆栽愛好会

盆栽は毎日の手入れが欠かせません

「丹精込めた盆栽が、思い描いたように育ってくれるとうれしいですね。」と会員の皆さんは、声をそろえておっしゃいます。公民館の講習がきっかけで発足したこの会。毎月第1・第3水曜日にそれぞれの鉢を手にして集まり、先生にせん定のコツを指導してもらうそうです。盆栽は一朝一夕にできるものではなく、普段の消毒、植え替え、水に肥料と手のかかるもの。それだけに先生のせん定の手元を見る会員の皆さんの目は真剣そのものでした。あなたも今から盆栽を始めてみませんか。

（連絡先：渡辺敏雄☎22－5234）

投稿募集中

フォトふなばしの各コーナーでは市民の皆さんからの投稿をお待ちしています。自薦他薦を問いませんのでどしどしご応募下さい。

広報課 ☎㊱2015

ペットインタビュー

（オーナー）鈴木　薫さん（夏見2）

『シベリアン・ハスキー』

僕の名前はラステル。日本でも最近人気が上がって、テレビにもよく出てくる「シベリアン・ハスキー」なんだ。自慢は、このりりしい顔。僕は船橋っ子だけど、もとは、名前から分かると思うけどシベリア地方の出身。だから寒さにも強いし、向こうではソリ犬として有名なくらい力もあるんだ。母さんは、「エル」といってとてもやさしいんだ。うちのご主人はいい人で、僕たちを小屋に閉じ込めっぱなしにしないで、庭で自由に遊ばせてくれるから大好き。木登りなんかも得意だよ。それでも、やっぱり散歩が大好き。だから毎日、朝と夕方の2回させてもらってる。僕は、犬の訓練学校も出てる優等生、ご主人の言う事はちゃんと聞くよ。でも、時々いたずらが過ぎちゃって、お目玉をもらうこともある。そんな時は、自分でも反省してるんだ。

WE ARE IN FUNABASHI

ART

墨の濃淡だけで表現するのが水墨画の魅力です

石綿静子さん（宮本9）

「墨の濃淡だけで表現するというところが魅力ですね。」とおっしゃる石綿さんは、水墨画を始めて12年。もともと絵の鑑賞は好きでしたが筆を持つのはこの時が初めてでした。「最初はぶどうを描いたんですが、ブドウの実を100粒以上描いて、やっと一粒だけブドウに見えると言われました。」とニッコリ。

最近になってやっと描けるようになったという風景画で、昨年の市展に入選しています。自分のイメージ通りに墨が広がってくれたときは気分良く筆が進むとのこと。石綿さんのもう一つの趣味は土鈴収集。旅先で買い求めた土鈴は100個以上になりますが、この素朴な土鈴の姿を和紙のノートに描いていくのが楽しみだそうです。

動きやすくて疲れないものが好きですネ

高橋文代さん（夏見6）

マイ・ファッション

「キャンパスライフには動きやすい服装が一番合っているし好きです。」高橋さんは、洋服に着られたくないという20歳の大学生。学校帰りの今日は、紺を主体にした花柄のフレアスカートにサーモンピンクの綿ニットのシャツと春らしいコンビです。昨年、1か月のヨーロッパ生活を体験、念願の美術館めぐりを楽しみました。「フランス人の考え方やプライドの高さに自分のカラーが変わる程のカルチャーショックも受けました。」と高橋さん。いわゆるブランド品は、その良さが理解できるようになった時に考えますとのことでした。

あい・らぶ・ふなばし

友達もできて毎日楽しいですネ

マリア森田さん（芝山7）

「日本に来たばかりの時は、言葉が話せなかったし、友達もいなくて大変でした。」マリアさんは、中米ホンジュラスの出身。ご主人の故郷、四国の松山市で8年間過ごしたあと昨年の4月に船橋に。日本食は、納豆やたくわんなど、ちょっと匂いにクセのあるものにも慣れたそうですが、ご主人の大好物のぐ・さ・やだけは苦手とか。船橋に来て一年、近所の奥さん方にスペイン語を教えたり、市内に住む外国人の皆さんと会っておしゃべりしたり、友達もたくさんできて毎日が楽しいとのこと。船橋は買物にも便利だし生活しやすいまちですというマリアさん。油揚げと豆腐の味噌汁が大好きなエプロンのよく似合うお母さんでした。

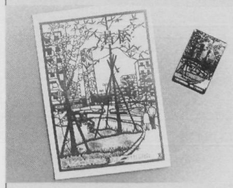
ご主人

原材料の確保が大変になってきましたね

染谷久雄さん（本中山2）

「先代がこの場所で佃煮屋を始めたのは昭和24年。佃煮と焼きはまぐりを作っていました。」当時、中山競馬場行のバス停が店の前にあり、開催日には、焼きはまぐりが飛ぶように売れたそうです。「先代は研究熱心でしたね。」と染谷さん。店の看板でもあるふきのとうの佃煮、「蕗（ふき）のとう」や錦蓬莱（きんぽうらい）も先代のオリジナル。染谷さんも常に新製品を考案製品化しています。「一番苦労するのは原材料の確保と保存ですね。特にふきのとうは秋田産ですが、一年半程度は確保しています。」と染谷さん。全国にファンがいる「はまや」の味は、今、三代目がしっかりと受け継いでいる。

あとがき



若松団地は昭和44年6月入居を開始。翌年結成された若松2丁目自治会では、入居20周年を記念してテレホンカードと記念誌を作りました。

■今年4月から千葉テレビで「タウンガイド」という番組が始まっています。その中に、船橋市のコーナーがあり私が担当する事になりました。市民の皆さんに興味を持っていただけるような、市内のホットな情報をお伝えします。時間は毎週金曜日の5時半から、ぜひご覧になって下さい。（彦）

■今月号の特集は緑と公園。普段何気なく通り過ぎてしまう公園を歩いてみる。怪獣あり、長いすべり台あり、公園もみんな特徴がある。そんな姿をカメラに収める。自然環境の破壊が叫ばれる今日、人間が人間らしく暮らしていく上で失ってはならないもの、大切なものが何であるか、教えられたような気がした。（賢）

■今回の特集パート2では、市内で働く20歳代の若者15人に船橋市の印象を伺いました。やはり多かった意見は道路や緑の整備について。その次に多かった要望がレジャー施設でした。いつも遊びを忘れないエネルギッシュな若者がどんどん集まるような、そんな船橋を実現したいものですね。（錦）

■取材で市内を歩いていると、市民の皆さんから声をかけてくださることがあります。「今日は何の取材なの？」「こんど町会でお祭やるから来てネ」etc…。フォトふなばしは、市民のイキイキとした姿をできるだけ沢山紹介するという編集方針で発行しています。これからも地域の情報を気軽に広報課までお寄せください。（勇）

■6月1日から5か所ある各出張所でもビデオ広報を放映することになりました。これまでの古いテレビも新しい27インチに変え、ビデオデッキと衛星放送も受信できるように改められました。既に市役所本庁では昨年10月から毎日2回づつ放映しておりますが、身近な情報をブラウン管を通じてどんどんお送りしていきたいと思います。ご意見ご感想をお待ちしてます。（雄）

少年少女交歓大会

元気っ子がワンパク国ワン王に大集合！

この日も111ポイントのフィールドアスレチックが人気の的でした

5月20日(日)、第23回少年少女交歓大会がワンパク王国で行われました。当日は、好天にも恵まれ、市内の青少年団体の子供たちや家族連れなど約10,000人が参加。大声コンテストや宝さがしなどのゲームや、日本一のポイント数を誇るアスレチックに挑戦したり、羊やヤギにふれてみたり、うさぎやモルモットを実際に抱いてみたり、ポニーに乗ったりと、初夏の1日を思い切り楽しんでいました。

湊町ばか面踊り保存会・湊町第7町会の皆さん

スポーツで健康ふなばし

こんにちは…

待望の小室分遣所が完成、5月1日から本格的に業務を開始しました。体制は、職員24人、はしご車、救助工作車（ポンプ付き）、救急車各1台。特にはしご車は、高層住宅にも十分対応できる30メートル級で、小回りがきく最新鋭のものが導入されています。

斜めにも移動できる最新鋭のはしご車

PHOTOふなばし　第37号　発行　船橋市　平成2年5月　編集　船橋市広報部広報課　印刷　㈱総合印刷新報社